

イラストでわかる子どものための日本語(1)

もくじ 目次

ひらがな・カタカナ.....	3
はじめに.....	4
だい ^だ い ^い っ ^か 第1課 あいさつ Aisatsu.....	8
だいに ^か 第2課 わたしは マイです。.....	10
だいに ^か 第3課 わたしは マイです。.....	10
だい ^{さん} ^か 第3課 きょうしつ ことば 教室の言葉.....	12
だいに ^か 第4課 おねがひ します。.....	20
だいに ^か 第5課 けいご しょうご かし 消しゴムを 貸して ください。.....	23
だいに ^か 第6課 すうじ 数字(0~99).....	27
だいに ^か 第7課 じかん 時間.....	30
だいに ^か 第8課 すうじ 数字 (100~100,000,000).....	34
だいに ^か 第9課 おかね お金.....	36
だいに ^か 第10課 かぞえかた 数え方.....	39
だいに ^か 第11課 けいさん 計算.....	45
だいに ^か 第12課 じかんわり 時間割.....	48
だいに ^か 第13課 きょうしつ 教室.....	52
だいに ^か 第14課 かぞく 家族.....	64
だいに ^か 第15課 やね うえ ねこ 屋根の上に猫がいます。.....	69
だいに ^か 第16課 カレンダー てんき カレンダー・天気.....	77
だいに ^か 第17課 だれ かさ 誰の傘ですか。.....	83
だいに ^か 第18課 くん いちにち どうし ケン君の一日[動詞(1)].....	87
だいに ^か 第19課 がっこう い どうし 学校へ行きました。[動詞(2)].....	90
だいに ^か 第20課 えんぴつ なが けいようし この鉛筆は長いです。[イ形容詞(1)].....	98
第21課 きゆう あつ けいようし 昨日は暑かったです。[イ形容詞(2)].....	102
第22課 いろ かたち 色・形.....	108
第23課 かんたん けいようし テストは簡単でした。[ナ形容詞].....	112
第24課 かんたん とても簡単です。.....	119

第25課	どちらが ^{おお} 大きい？	124
第26課	音楽が ^{おんがく す} 好きです。	130
第27課	スマホがほしいです。	137
第28課	動詞のグループ[辞書形] ^{どうし じしょけい}	141
第29課	日本語を ^{にほんご はな} 話すことができます。	145
第30課	バスケットが ^{じょうず} 上手ですね。	151
第31課	ご飯を ^{はん た} 食べています。	154
第32課	窓を ^{まど あ} 開けてください。	161
第33課	窓が ^{まど あ} 開いています。	164
第34課	昨日学校へ ^{きのうがっこう い} 行った。	168
第35課	漢字が ^{かんじ わ} 分からない。	173
索引	^{さくいん}	177

ひらがな・カタカナ

	A	I	U	E	O
	あ ア	い イ	う ウ	え エ	お オ
K	か カ	き キ	く ク	け ケ	こ コ
G	が ガ	ぎ ギ	ぐ グ	げ ゲ	ご ゴ
S	さ サ	し シ	す ス	せ セ	そ ソ
Z	ざ ザ	じ ジ	ず ズ	ぜ ゼ	ぞ ゾ
T	た タ	ち チ	つ ツ	て テ	と ト
D	だ ダ	ぢ ヂ	づ ズ	で デ	ど ド
N	な ナ	に ニ	ぬ ヌ	ね ネ	の ノ
H	は(wa) ハ	ひ ヒ	ふ フ	へ(e) ヘ	ほ ホ
P	ぱ パ	ぴ ピ	ぷ プ	ぺ ペ	ぽ ポ
B	ば バ	び ビ	ぶ ブ	べ ベ	ぼ ボ
M	ま マ	み ミ	む ム	め メ	も モ
Y	や ヤ		ゆ ユ		よ ヨ
R	ら ラ	り リ	る ル	れ レ	ろ ロ
W	わ ワ				を(o) ヲ
n	ん ン				
Ky	きゃ キヤ		きゅ キュ		きょ キョ
Gy	ぎゃ ギヤ		ぎゅ ギュ		ぎょ ギョ
Sy	しゃ シヤ		しゅ シュ		しょ ショ
Zy	じゃ ジャ		じゅ ジュ		じょ ジョ
Cy	ちゃ チャ		ちゅ チュ		ちょ チョ
Dy	ぢゃ ヂヤ		ぢゅ ヂュ		ぢょ ヂョ
Hy	ひゃ ヒヤ		ひゅ ヒュ		ひょ ヒョ
Py	ぴゃ ピヤ		ぴゅ ピュ		ぴょ ピョ
By	びゃ ビヤ		びゅ ビュ		びょ ビョ
Ny	にゃ ニヤ		にゅ ニュ		にょ ニョ
My	みゃ ミヤ		みゅ ミュ		みょ ミョ
Ry	りゃ リヤ		りゅ リュ		りょ リョ


はじめに

本書の特徴：

本教科書は(1)と(2)の2分冊になっています。(1)は第1課から第35課まで、(2)は第36課から第77課までで、敬語を除く初級レベルの文法(文型)を概ねカバーしています。語彙数は計約1200です。

各課は90分から120分で学ぶことを想定しています。45分授業であれば、2回～3回でできます。各課は、**読みましょう**→**練習**→**話しましょう**→**書きましょう**の順番で構成されています。別冊の付属教材として応用練習のためのアクティビティー集があります。

学習者が自分自身で考えて学べるように、イラストを多用しています。点線下線を引いた語彙・表現にイラストまたは ☞ で簡単な説明を付けてあります。語彙・文法の予習は必要ありません。文字の網掛けは注目してほしい文法項目です。文法の説明はなるべく避け、文法の意味が分かるような場面や文脈を**読みましょう**で示しています。わずかに文法説明がありますが、できるだけ簡略化してあります。このように、語彙・文法の意味はすべて教科書内で示していますので、教科書通り、順番に進めてください。

登場人物は中学2年生という設定ですが、この教科書は小学校高学年から高校生まで使えます。学校の学習で必要になる、教科の名前、教室の名前、数字、計算、単位などを最初の方の課で扱っています。「です・ます」体だけでなく、普通体の言い方を最初から扱っています。これは、子どもたちが普段、友達とのコミュニケーションの機会が多いことに配慮したものです。普通体は  で示しています。

「ひらがな・カタカナ」

授業開始から1週間程度は教科書の最初にある「ひらがな・カタカナ」の表を使って読み方・書き方を教えてください。ローマ字を併記してある第1課、第2課も同時に教えてください。「ひらがな・カタカナ」の表は、学習者が分かりやすいように清音に続けて濁音・半濁音を配置してあります。

ひらがな・カタカナは一度指導しただけでは定着しませんから、まずはひらがなだけを宿題などで何度も練習させてください。練習にはインターネットでダウンロードできるマス目用紙が便利です。表のアルファベットの部分を枠外に書いて、枠内にひらがなを書かせてください。ひらがなが定着したあとでカタカナの練習に移ってください。教科書を使い始めても、しばらくは読み方・書き方がおぼつかない状態ですので、常に表を見て読んだり書いたりできるように、表をコピーして手元に置かせておくと便利です。

「漢字」

漢字には振り仮名を付けていますが、近くに同じ漢字がある場合は後ろの漢字には振り仮名がありません。前にある同じ漢字を探して、読むこととなります。このようにして漢字の読み方の練習をします。書き方は本教科書では扱っていません。必要に応じて別途教えてください。なお、漢字の読み方・意味を調べるには、スマートフォンで利用できる各国語版の漢字のアプリやグーグル翻訳アプリなどがお勧めです。

本書の使い方：

学習者が2人の場合は、すべての語彙・文を交替で言わせます。

学習者が3人以上で、全員にすべての語彙・文を言わせていると時間がかかり過ぎる場合、1人目に1番の語彙・文、2人目に2番の語彙・文、3人目に3番の語彙・文のように順番に当てます。当てる語彙・文を変えて2～3回繰り返します。

読みましょう

- (1) 文を1文ずつ交替で、会話はペアで音読させます。
- (2) 3回または間違わずに読めるようになるまで繰り返して読ませます。
- (3) Qを読ませます。
- (4) 答え(A)を言わせます。

読みましょう およびその前後に語彙がある場合（第6課～第9課、第21課～第23課など）

- (1) 語彙を1つずつ順番に音読させます。
- (2) 文字を見ないで(文字を手で隠して／顔を上げて)順番に言わせます。「見ないで。／見ないで、言ってください。」と指示します。
- (3) 語彙を2つずつ、見ないで順番に言わせます。間違わずに言えるようになるまで繰り返し言わせます。

練習

- (1) 1人に枠の中と例を音読させます。「練習1を読んでください。」と指示して、枠の中を読ませます。続いて、「例を読んでください。」と指示して、例を読ませます。
- (2) 教科書を見ないで言わせます。
- (3) 次の人に1番を読ませて、答えまたは変換した文を言わせます。
- (4) 1番とその答えまたは変換した文を教科書を見ないで言わせます。間違わずに言えるようになるまで繰り返し言わせます。
- (2番以下、同様。)

話しましょう

- (1) 例をペアで音読させます。2回または間違わずに言えるようになるまで繰り返します。
- (2) 教科書を見ないで言わせます。間違わずに言えるようになるまで繰り返し言わせます。

書きましょう

- (1) 1人に、指示文を音読させます。
- (2) 全員に書かせます。
- (3) 書いているときに、巡視して、書いたものをチェックします。間違いがあったらアンダーラインして直させます。
- (4) 1人ずつ、書いたものを読ませます。
- (5) 書いたものを見ないで言わせます。順番に全員に言わせます。

「最後に」

(1)「読みましょう」の答え(A)、「練習」の答え(A)または変換した文(⇒)に文を書かせます。

(2)書いているときに、書いたものをチェックして間違いがあったら、アンダーラインして直させます。

(3)書く時間が足りない場合は、宿題にして、次回にチェックします。

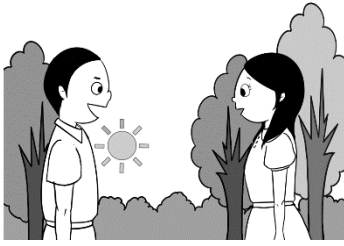
教師の役目：

教師はイラストや説明を準備する必要がありません。教師は、学習者の間違いをチェック・指摘してください。なるべく学習者自身に間違いを直させてください。1人で正解を導けない場合は、クラスメートと相談させてください。それでも分からない場合は、教師が教科書の中のヒントとなる箇所を指し示してください。語彙を忘れている場合は、索引で調べてその語彙のイラストや説明を指し示してください。スマートフォンで調べさせるのもいいでしょう。それでも分からない場合は、正解を教えてください。

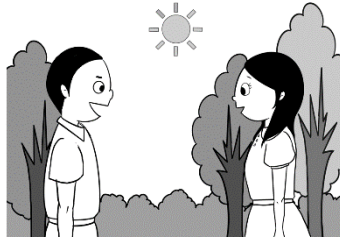
学習者が教科書の文を読めないとき、発音、アクセント、イントネーションが間違っているときなど、必要に応じて教科書を読んで正しい音声を聞かせてください。

本教科書は「教えない教え方」の考えに基づいて作成されました。教師が教えるのは教科書の内容ではなく、自立した学習者になる方法であるという考え方です。学習者が間違ったり、困難を感じているときに、教師はすぐに正解を教えるのではなく、学習者自らが問題を解決しようとする手助けをするサポーターになってください。学習者はいずれ教室を離れます。そのときに自立した学習者になって自分自身で学習を続けられる方法を今から教えてあげてください。

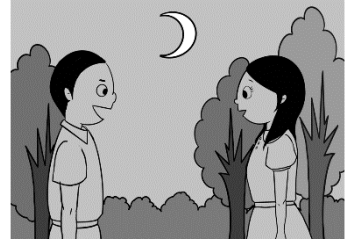
だいいっか
第1課 あいさつ Aisatsu



おはよう。
ohayō



こんにちは。
konnichiwa

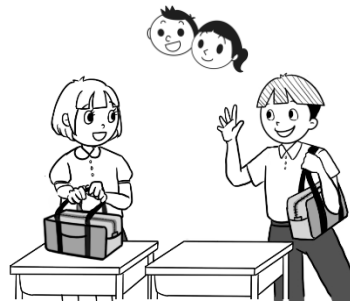


こんばんは。
konbanwa

8:00 AM



おはよう ございます。
ohayō gozaimasu



おはよう。
ohayō

4:00 PM



さようなら。
sayōnara

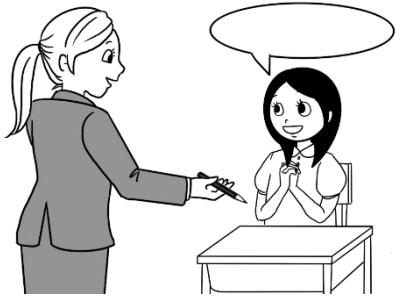


さようなら。
sayōnara

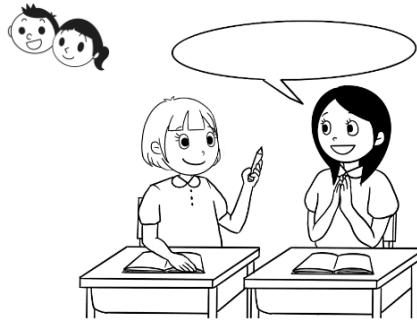
10:00 PM



おやすみ(なさい)。
oyasumi(nasai)



ありがとうございます。
arigatō gozaimasu



ありがとう。
arigatō



すみません。
sumimasen



ごめん。
gomen



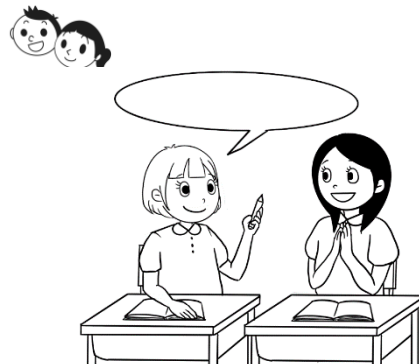
すみません。
sumimasen



すみません。
sumimasen



どうぞ。
dōzo



どうぞ。
dōzo

イラストでわかる子どものための日本語（1）

2022年 月 初版第1刷 発行

[本冊]

著者 今井新悟
表紙・イラスト 佐藤真理
校正協力 大塚由実子 内村麻理 冷灵芝 ツェデウ・ヒシゲジャルガル 平野晃子
協力 野丸昌寛 宮下雅美

[アクティビティー集]

編著者 中澤美水
著者 内村麻理 冷灵芝 三浦萌 大塚由実子 ツェデウ・ヒシゲジャルガル
裴春梅 平野晃子
編集協力 今井新悟
表紙 江原芹菜
イラスト 江原芹菜 佐藤真理

発行 学校法人 瀧澤学園 CMB 千葉モードビジネス専門学校
〒264-0026 千葉県千葉市若葉区西都賀 3-3-2
TEL. 043-287-2725 FAX. 043-287-2550

本書の全部、または一部の無断転載を禁じます。

Printed in Japan

ISBN978-4-9912847-0-0